

立川駅周辺地区大規模雨水処理施設整備事業 第2期

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	北多摩二号処理区の錦処理分区は、昭和30（1955）年度より事業に着手し、標準耐用年数を経過した下水道管が増加し、老朽化が進行している。その中でも立川駅周辺の雨水排水を担っている緑川幹線の適切な機能確保を図り、立川駅周辺の浸水被害を防止するため、集中的な改築を実施する必要がある。
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：50mm/hr <p>②目標設定</p> <p>下水道管の老朽化に伴う被害を未然に防止し、下水道管の流下機能を低下させることなく安定した下水道サービスを提供する。</p> <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <p>i)ハード対策</p> <p>下水道管の改築（緑川幹線）を実施。</p> <p>ii) ソフト対策及び自助</p> <p>民間開発や住宅等の新築、建て替え及び公共施設整備の際に、道路や住宅内等に雨水貯留浸透施設の設置を促進。また、既存住宅への雨水浸透施設の設置助成事業を促進。</p>

項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 （令和6年11月策定済み）※最新版の日付			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・緑川幹線の改築開削（布設替） 約0.5km 管更生 約0.6km
		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨情報の収集 ・既存住宅への雨水浸透施設の設置助成事業を促進
	自助	ハード対策		<ul style="list-style-type: none"> ・民間開発や住宅等の新築、建て替えの際に、道路や住宅内等に雨水貯留浸透施設の設置を促進

年度計画（百万円）

名称	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	計
合流管渠	292	239	1,516	1,467	697	574	865	808	62	443	6,963

項目	内容・施策等
整備効果	<p>老朽化した緑川幹線を改築することで雨水排水機能を適切に確保し立川駅周辺の浸水被害を防止する。</p> <p>対象降雨：50mm/hr 1/4 対応</p>

立川駅周辺地区大規模雨水処理施設整備事業 第2期（立川市）

北多摩二号処理区の錦処理分区は、昭和30(1955)年度より事業に着手し、標準耐用年数を経過した下水道管が増加し、老朽化が進行している。その中でも立川駅周辺の雨水排水を担っている緑川幹線の適切な機能確保を図り、立川駅周辺の浸水被害を防止するため、集中的な改築を実施する必要がある。

事業の効果

老朽化した緑川幹線を改築することで雨水排水機能を適切に確保し、立川駅周辺の浸水被害を防止する。
対象降雨:50mm/hr 1/4対応

事業概要

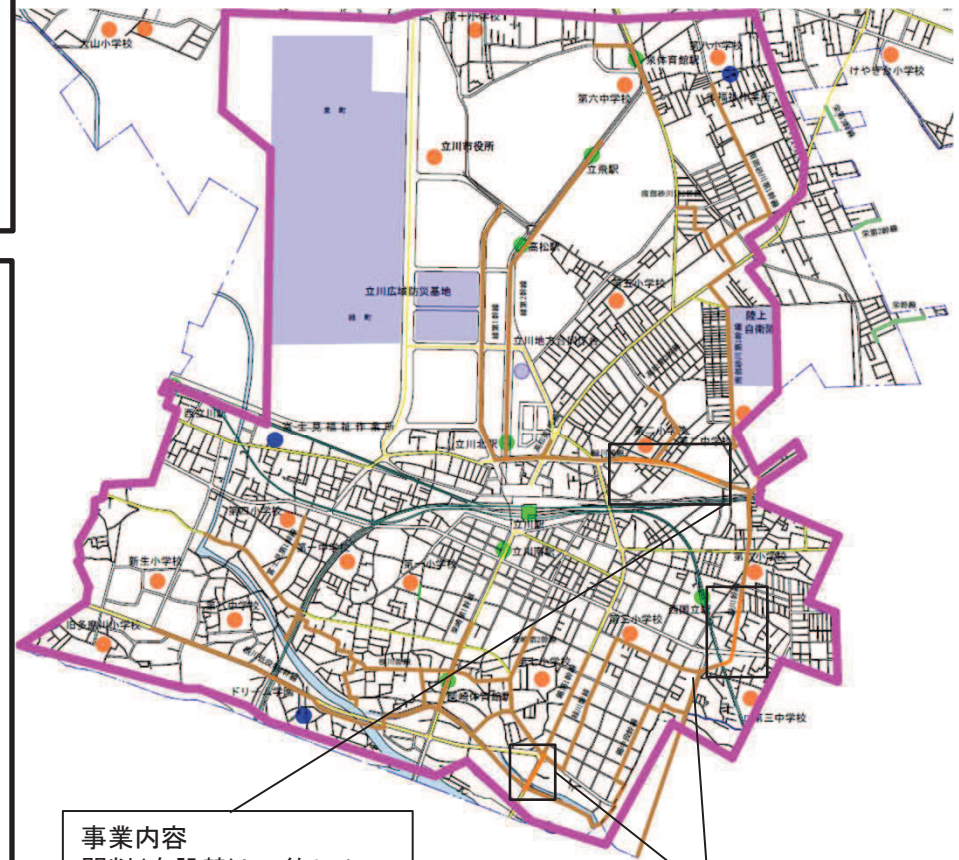
○事業内容

・開削(布設替)実施設計及び工事
L=約0.5km

・管更生実施設計及び工事
L=約0.6km

○全体事業費 :約69.63億円

○事業期間 :令和8年度～令和17年度



事業内容
開削(布設替)L=約0.5km

事業内容
管更生 L=約0.6km